令和４年度　いなべ市総合戦略事業進捗状況報告書（概要）計画期間：令和2年度から令和７年度まで

資料1

総合戦略プロジェクト（9頁　※資料2の該当頁）

国の政策分野1

地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
⇒ しごと創生プロジェクト
数値目標：事業所数（法人税割納税義務者数）

数値目標名	単位	実績値	目標値 実績値						達成率（%）
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
事業所数（法人税割納税義務者数）	事業所	1,124	－	－	－	1,195	1,211	1,227	－
			1,156	1,170	1,179				

※三重県の『市町村税の概要』による。

国の政策分野2

地方への新しい人の流れをつくる
⇒ であい創生プロジェクト
数値目標：観光集客数

数値目標名	単位	実績値	目標値 実績値						達成率（%）
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
観光集客数	人	410,764	453,000	455,000	457,000	459,000	461,000	463,000	161.5
			660,359	681,328	738,222				

国の政策分野3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
⇒ みらい創生プロジェクト
数値目標：合計特殊出生率及び 15 歳～49 歳の女性の人数

数値目標名	単位	実績値	目標値 実績値						達成率（%）
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
合計特殊出生率※	%	1.39	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	1.46	93.8
			1.22	1.34	1.37				
15 歳～49 歳の女性の人数（9 月末の住基人口）	人	8,735	8,700	8,750	8,800	8,850	8,900	8,950	93.7
			8,633	8,435	8,245				

※前年度の 10 月 1 日から当該年度の 9 月 30 日までの期間で算出（例：R4＝R3.10.1～R4.9.30）

国の政策分野4

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
⇒ くらし創生プロジェクト
数値目標：市民満足調査におけるまちへの愛着度アップ

数値目標名	単位	実績値	目標値 実績値						達成率（%）
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
まちへの愛着度（総合計画の市民満足度調査で「愛着を感じる」と回答した方の割合）	%	63.1	－	－	－	－	70.0	－	－
			－	－	－	－			

プロジェクト毎の進捗状況（9 頁）

工業統計が廃止されたため、新しい目標として『事業所数（法人税割納税義務者数）』を設定しました。

市内の事業所数が増えることは、就業の多様性や機会の増加につながり、地方にしごとをつくり、安心して働けるようになります。

目標値は、直近5年間の平均増加数が15.8事業所であるため、毎年16事業所の増加を目標とします。

新型コロナウイルス感染症防止対策により中止されていた、「いなべ梅まつり」を3年ぶりに開催でき、約8万人の方に来場いただきました。

令和2年度から集客数の集計に計上された「にぎわいの森」が半数弱を占めています。（にぎわいの森約353千人、その他約385千人）

合計特殊出生率については、出生数が285人と前年維持したことに対し、15歳から49歳の女性の数が前年度から減少となったことから、0.03ポイントの上昇となりました。

女性の人数は、毎年減少の一途を辿っています。

人口減少や就学、就労、結婚の機会による転出が考えられます。

「まちへの愛着度」調査は、令和6年度の第3次いなべ市総合計画策定の際に実施します。

プロジェクトを構成する事業の進捗状況（11 頁、34 頁～41 頁）

判定	A	B	C	D	不能
指標数	4	1	1	3	0

しごと創生プロジェクトは、9 事業中 5 事業がA及びB判定で概ね順調にプロジェクトを進めることができました。

C判定の「審議会等への女性登用率」は、広報誌等の情報発信による男女共同参画の啓発や、各部局に対して所管する審議会等への女性委員の積極的な登用を促しましたが、あまり拡充されませんでした。

D判定の『企業立地件数』は、将来を見据えた企業の新規進出や拡張の相談はありましたが、立地協定の締結には至りませんでした。東海環状自動車道の開通をチャンスととらえ、工場用地の確保と企業誘致活動に取り組みます。

『企業相談件数』は、R8年度中の東海環状自動車道全線開通によりいなべ市への企業進出や設備投資の需要は高まると考えられますが、目標を達成できませんでした。

『そば祭り入場者数』は、4年ぶりの開催となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた三重県指針及びイベントの開催基準等に基づき小規模の開催といたしました。

判定	A	B	C	D	不能
指標数	4	3	3	0	1

であい創生プロジェクトは、11 事業中 7 事業がA及びB判定で概ね順調にプロジェクトを進めることができました。

C判定の「北勢線利用者数」、「福祉バス利用者数」、「阿下喜温泉の集客数」は、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響による移動自粛、営業時間の短縮やイベントの中止などにより、何れの実績値も昨年から増加していますが目標を達成できませんでした。

判定	A	B	C	D	不能
指標数	4	5	4	1	1

みらい創生プロジェクトは、15 事業中 9 事業がA及びB判定で概ね順調にプロジェクトを進めることができました。

C判定の「青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数」、「子育て支援センター利用者数」は、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のために参加者の制限や活動自粛を行ったことより、何れの実績値も昨年から増加していますが目標を達成できませんでした。

C判定の「全国学力学習調査において『将来の夢や目標を持っています』と答えている中学 3 年生の割合」は、未来いなべ科にて未来を切り拓く力を育み、また社会見学やゲストティーチャーの招聘を行い、生き方について考え方を深めましたが、目標を達成できませんでした。

『各校に登録する学援隊員数』は、地域の方の高齢化により退任される方が増えている要因もあり、隊員数が減少しました。

D判定の「個別療育・小集団療育を受ける子どもの数」は、療育事業の見直しにより、4,5歳児を対象にした小集団療育や、保育園に出向いて知的な発達に課題のある子どもに対する個別療育を充実させ実施しましたが、目標を達成できませんでした。

判定	A	B	C	D	不能
指標数	8	5	0	1	0

くらし創生プロジェクトは、14 事業中 13 事業がA及びB判定で順調にプロジェクトを進めることができました。

D判定の「防災講演受講者数」は、地域住民の活動が徐々に動きはじめ、地域から講演会開催の要望が多くなってきましたが、目標を達成できませんでした。

審議会委員からの意見

●市のイベントに参加し、女性消防団が活躍されていることを知りました。参加されていた女性消防団のパワーに驚かされ、こうした若い女性の社会参画の重要性と活躍の場の必要性を感じました。

●非常に分かり易い広報がある一方で、横文字ばかりで何の広報か分かり難い広報がある。コスト面の問題もありますが、市内の人口構成などを考慮し、広報の有効な情報の伝達について、広報戦略を立てることが必要だと思います。例えば、若者向けと高齢者向けで情報媒体を変えるなど、発信方法の検討が必要と考えます。

●いなべる（アプリ）の登録者 1 人からみんなが教え合い、多くの人に波及したことがありました。高齢者にもスマホ所有者はたくさんいるが、使い方を教えてくれる機会や機会があることを知らないことが多いため、その辺りの情報発信（広報）があるともっと良いと思います。

●長年にわたりいなべ市を見てきて、この2、3年はコロナで数値検証ができない状況が続いてはいたが、いなべ市の総合計画の視点としてのまちづくり全般は、非常に良くなってきているとの印象を受けています。

※判定「A：100％以上：進んだ」、「B：85％以上～100％未満：ある程度進んだ」、「C：70％以上～85％未満：あまり進まなかった」、「D：70％未満：進まなかった」、「判定不能：事業が終了したもの又は、判定ができないもの」